

地域人材の育成と地元就業を支援する



かごしまCOC+通信

KAGOSHIMA COC+ NEWSLETTER

第6号
平成30年2月

かごしま学卒者
地元定着促進協議会

多彩な産学官連携カリキュラムで地域に共鳴する 【志学館大学】

志学館大学では、「地域就業力を強化し自己形成を促進させる」というコンセプトのもと、様々な事業に取り組んでいる。進路支援では、各業界等との意見交換会や模擬面接会、合同説明会、各種講座・適性診断・模擬試験、内定者報告会、就業体験など、資格講座を除いても課外で50以上のプログラムを設け、低年次から段階的に進めている。だが、今回は、正規科目での新たな試みの一部を紹介したい。

1. 共通教育科目「キャリア概論（かごしま学）」

平成29年度より、前期2年次配当の共通教育・キャリア形成科目「キャリア概論」を改編し、サブテーマを“かごしま学”として、鹿児島県の産業や地域論を多角的に取り上げた。歴史・文化・地理・自然・農畜産・水産等を教員が、工業・観光業・商業・金融業・教育業・医療福祉業・自治体論・島嶼論等は各界を代表する関係者が担当し、約100名が履修して、いずれも白熱の授業となった。心掛けたのは、単なるオムニバス講義ではなく、各回・全体の導入と振り返りの重視による、地域マインドの醸成である。学生からは

「毎週図書館で事前事後学習をした。ウェブ上の地域情報も含めて、こんなに調べたくなるとは自分でも思わなかった」、「県外出身で最初は鹿児島での就職に関心がなかったが、授業を受けて働きたい気持ちが強くなった」という感想や、知りたい分野の要望も積極的に寄せられた。次年度も学生の主体性を引き出す講師陣のもと臨んでいきたい。

2. 共通教育科目「キャリアデザイン」

「薩摩剣士隼人」等のローカル・キャラクターや県内各自治体の「ゆるキャラ」、広報コンテンツを制作、発信している一般社団法人 chests 連合・株式会社ポケモンプロとの連携により、後期、地域分析力と発信力を身に付ける講義や現地研修を行った。2～4年生の約40名が、地域資源と社会現実とに接することで地域の中の自己について考え、議論した。

学外では、出水市のキャラクターの撮影補助や出演、鹿児島中央駅の3地区合同イベントの企画会議参加や当日の補助・SNS発信、資材制作現場の補助なども体験した。学生たちは、地域資源を活かしたイベントそのものもまた資源になることを知り、若者の参加が喜ばれ、コンテンツが地域活性化や観光、対話に繋がっていく展開の速さには驚いていた。



竹灯籠イベントが舞台となった現場と、商店街の会議の様子（外山雄大監督）。

3. JAグループ鹿児島・指宿市・霧島市連携「弁当プレゼンコンテスト」

平成29年12月12日（火）昼休み、本学学食にて、「第4回弁当プレゼンコンテスト」を開催した。地産地消とプレゼンテーション力を競うもので、第2回からJA鹿児島県中央会との連携により、法学部キャリア教育ゼミの主催で実施している。今回は、本学が協定を結ぶ指宿市（商工水産課）と霧島市（霧島PR課）から賞品の提供協力を得て、両市の特産品を用いることを条件に行われた。JAグループからはプレゼンターと審査員、資料提供の協力があり、留学生や大学教員も出場し、用意された約50名分の席だけでなく、周囲で昼食を取りながら熱心に見入る学生・教職員もあり盛り上がった。接戦の中、優勝は台湾留学生ライ・ボォチェンさんと人間関係学部2年茶屋りあさんのペアで、鹿児島の食材による台湾料理への挑戦や友情・感謝が伝わるプレゼン「お弁当で文化交流」には温かい拍手が送られた。



台湾留学生と日本人学生のペア。霧島産の黒酢・鳥肉による「糖醋雞塊」や指宿産の紅さつまによる「地瓜籤」など、両市の素材で風味が増したそうだ。

COC&COC+活動～地域活性化の担い手を目指して～

【鹿児島女子短期大学】

本学では、「地域に貢献する人材となりうる意欲、知力、経験及び実践力を持つ地域活性化の担い手」を育成して地域に貢献するCOC活動「すこやかLife支援プロジェクトin鹿児島」に取組み、「WE LOVE 鹿児島！」など地域特性と各学科専攻の特色を生かした科目や研修、地域貢献型ボランティア活動等を充実させてきた。

更に2017年度からは、それらをポイント制の「COC+教育プログラム」として編成し、認定に値する条件を満たせば卒業時に「COC+教育プログラム認定証」を授与することとしている。以下に、取組みの一端を紹介する。

COC+公開講座 2017

9月8日、COC+参画校が共同して鹿児島大学で開催された公開講座において、本学の学生3名が



ワークショップの様子

ワークショップのファシリテーターを務めた。多くの斬新なアイデアが出され、有意義な時間を共有した。

食物栄養学専攻 スマイルプロジェクト

鹿児島市との連携事業「かごしま食育フェスタ」や地域と連携した様々な食育活動で活躍中のプロジェクト。①畑作物栽培・加工プロジェクト～かごしま丸ごと食育～②明治維新150周年薩摩の食・再発見プロジェクト③「植える・食べる・伝える」よい食プロジェクト大豆編④Healthy & Smile プロジェクト～笑顔をみんなに～⑤未来への贈り物☆プロジェクト～持続可能な社会を目指して「もったいない」を見直そう～の5つのテーマで学生がグループ活動し、郷土食に強い栄養士を目指している。

これは文部科学省から2017年度『私立大学研究ブランディング事業』の選定を受けるという大きな成果を生み出した。鹿児島の食文化の継承と発展のための拠点「鹿女短食育ステーション」として、全学で学生を対象に食育活動の普及・推進に取り組む「鹿児島の食アンバサダー」育成に取り組んでいる。



いざ「鹿児島の食アンバサダー」へ！



手作りランチ開放に地域の方々も大喜び！



コメ作り体験



鹿児島サンロイヤルホテルとの協働で地元の未利用資源を用いたレシピの開発&発表～持続可能な社会を目指して～



鹿児島共同食品との協働でヘルシーな商品開発から販売までを体験～笑顔をみんなに～

かごしま食育フェスタ 2017

11月12日、本学にて鹿児島市との共催で、食育を通じた元気な鹿児島づくりを目指して開催。1300人以上が来場して盛り上がった。



体によい食物の「お店やさんごっこ」



手作りの「食育紙芝居」に西郷どんも登場「植えて食べて伝えよう！」

インターンシップ

2017年度は、学生68名が29社の地元企業でのインターンシップに取組んだ。受入れ企業は、金融機関・ホテル・商業店舗・マスコミ・NPO法人・公的機関など幅広い業種であった。



鹿児島銀行にて成果発表地域金融の大切さを学んだ。